

1 検察審査員は本当に無作為に選ばれているのか？

①検審の歴史は長い。

戦後まもなくの昭和23年にスタートしているので相当多数の市民が、検察審査員に選ばれている計算になる。しかしマスコミ関係者、ライター、政府に批判的な文化人などが選ばれたことがないのである。

あなたの周りには検察審査員に選ばれた人がいるだろうか？

現実には警察から情報入手し、事前に不適格者をくじ引きリストから外してきた歴史がある。

これは地元有力者と公安委員会、警察、裁判所事務方の人的癒着から発生してきたものだ。

②「検察審査員」という肩書きは、地方名士たちの名誉職として存在する。

一方で地方裁判所の事務方が彼らの要請に応える形で、恣意的に選んできた歴史もある。

③検察審査員のOB会が全国組織「**検察審査会協会連合会**」として存在し、名刺、表札なども作成している。

OBとして活動・親睦交流会を定期開催し、地方名士のステイタスになっている。「全国的な情報の収集や伝達と、統一的な広報、グッズの作成や頒布など幅広い広報・啓蒙活動」が主な役割となる。滑稽、笑止千万なことが大まじめに綿々と受け伝えられてきているのである。

